

五七六九（次行）

「本通塞神物」

蓋し體は天地を成す、

五七七〇

性は天神を成す

五七七一一七二

相い得て物の神を含むや。 塊塊に居る、

五七七三

衰衰に行く、

五七七四

塊塊は處を爲す、

五七七五

衰衰は時を爲す、

五七七六

塊塊は未だ方位を見ず、 象質 動きて方位を見ず、

五七七七

衰衰は未だ歳運を見ず、 象質 交りて歳運 成る、

五七七八

塊塊は其の處なり、 内外は散結を容る、

五七七九

衰衰は其の時なり、 往來は歳運を成す、

五七八〇

散結は能く塞る、

五七八一

往來は能く通ず、

五七八二

塞する者は以て居る、

五七八三

通ずる者は以て行く、

五七八四

通じて行く者も亦た塞りて住す、

五七八五

塞りて居る者も亦た通じて移る、

五七八六

居る者は其の體を常にす、

五七八七

行く者は其の體を移す、

- 五七八八
- \* 五七八九
- \* 五七九〇
- 五七九一
- 五七九二
- 五七九三
- \* 五七九四
- 五七九五
- 五七九六
- \* 五七九七
- \* 五七九八
- 五七九九
- 五八〇〇
- 五八〇一
- \* 五八〇二復元1
- \* 五八〇二復元2
- 五八〇三
- 五八〇四
- 五八〇五

昨の天地は、今に收む可らず、  
 今に遺す所無し、  
 是を以て通塞は精なりと雖も、  
 亦た一動一静の間なり。

時處は、天なり、

神物は、物なり、

天は能く物を容る、

物は能く天に居る、  
是を以て

天地は天神を用う、

天神は天地に體す、  
是を以て

住して處を爲す者と雖も而も移る、

逝きて通を爲す者と雖も而も住す、

處は容れて物は居る、

天は有して神は發す

時は通じて神は運ぶ、

是を以て處なる者は静なり、

物なる者は止なり、

止る者は中を得て、  
而して止る、

運ぶ者は外を得て、  
而して居る、  
是に於て

處は塞して物は居る、

(安永本からの復元。)

(PB 401)

五八〇六  
五八〇七  
五八〇八

時は通じて期は従う、  
常なる者は歳を以て而して成る、  
變する者は運を以て而して成る、

(成るを爲すに訂正傍記。)